

明治丸 登場

明治丸は140年前にイギリスで造られました。
今では日本に残るたったひとつの
「鉄」でできた船です。
船の中はたいへんきれいな作りになっていて、
その船尾にはアカンサスという珍しい花の模様が描かれています。



初めてのお仕事

明治の初め、日本の海は夜になると
何も見えなくなるほど、暗い海でした。
暗い海は、船にとっては、
安全な航海ができなくなりとても不便です。
安全な航海をするためには、
海を明るく照らすための灯台が必要です。
明治丸はその重要な灯台を守るために作られ、
その役目を果たしました。



大きなお仕事

明治丸は、昔の船の中では、とても速い船でした。
小笠原諸島がどの国になるのかという問題が起きたとき
明治丸が小笠原諸島にいち早く到着して、
日本政府調査団が調査を行いました。
小笠原諸島が日本の領土になっているのは
明治丸のおかげなのです。

ロイヤルシップ

明治天皇が、東北・北海道をご巡幸したとき、
明治丸は明治天皇をお乗せし、横浜に帰港しました。
そのことを記念して、
7月20日が「海の記念日」と制定され、
現在の「海の日」となりました。



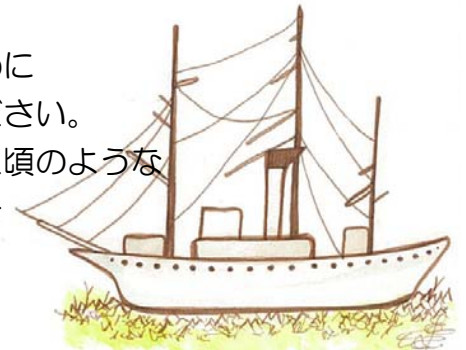
新しいお仕事

いろいろな航海をした明治丸も、海のたびを終え、
商船学校の生徒達を立派な船乗りにするための練習船
として、越中島に移ってきました。
明治丸のおかげで多くの船乗りが育ち、
世界へと船出して行きました。



明治丸 これから

明治丸は国の宝として保存されていますが、
今はお休みしています。
どうか明治丸が未来の私たちのために
頑張ってくれたことを忘れないでください。
そして、いつか大海原をかけていた頃のような
元気な姿でみなさんに会えることを
楽しみに待っていてください。



明治丸



東京海洋大学 明治丸海事ミュージアム

